

奈良女子大学 記念館一般公開

女子だけの、国立大学。

5/1 **水** - 7 **火**
9:00 ▶ 16:30 (入館は16:00まで)

入場無料
予約不要



明治時代の標本や貴重な裁縫教材など
全4学部の特別展示を行います

5/3 **金**・5日

本学公認サークル「piano-forte」による
ミニコンサート開催

※日程変更の可能性が
あります。
時間はSNS、HPを
ご確認ください。



X(Twitter)

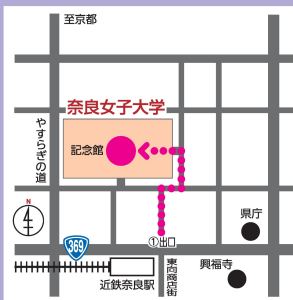


Instagram

交通
近鉄奈良駅①出口から
徒歩約5分
JR奈良駅から市内循環バス
近鉄奈良駅前下車徒歩約5分

〒630-8506
奈良県奈良市北魚屋東町
奈良女子大学
TEL.0742-20-3220
FAX.0742-20-3205

駐車場はございません

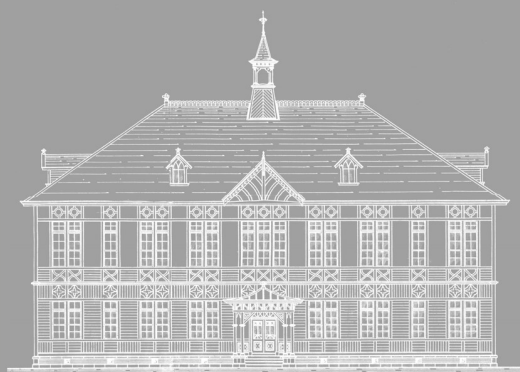


記念館ホームページ
<https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/faculty/kinenkan/index.html>

奈良女子大学
総務課 広報・基金係



奈良女子大学 記念館について



奈良女子大学の前身である奈良女子高等師範学校は1908(明治41)年3月に設置され、翌年5月から授業を開始しました。校舎の工事は1908(明治41)年2月からはじまり、翌年10月には主要な建物が完成しました。現在、奈良女子大学記念館としている建物は、奈良女子高等師範学校本館としてこのとき建設されたものです。設計は京都帝国大学建築部長で奈良出張所心得の山本治兵衛が行いました。

木造二階建てで、外観の大きな特徴は、北欧によく見られる木部を外に表す壁構造のハーフティンバー形式をとっており、屋根には頂塔およびドーマー窓が設置されていることにあります。1階は中央に廊下が配され、これを挟む形で7室が設置されています。建物両端にある階段で2階に上ると、フロア全体が大きな講堂となっています。講堂内には柱は用いられず、中央部に二重に織り上げた天井には明かり取りの窓が配され、広々とした空間が広がります。

1994(平成6)年2月から6月にかけて改修工事が行われ、同年12月27日に正門および守衛室と併せて重要文化財に指定されました。その後も空調設備工事・外壁改修など、その時々適切な修理を行い、2014(平成26)年12月から2015(平成27)年12月にかけては、これまでにない長い時間をかけて大規模な耐震補強工事を実施しました。この工事に際しては、文化庁・奈良県の指導を受けて、歴史的建造物の文化的価値を損なうことのないよう、細心の注意を払い設計、施工がなされました。

旧本館は建設以来、改変された箇所はほとんどありません。現在も2階講堂内部には奈良女子高等師範学校開校当時から使用されていた長椅子がそのままに並び、開校時に購入した最も古い国産ピアノのひとつであるとされる「百年ピアノ」が置かれ、往時を偲ぶことができます。

展示 内容

文学部・理学部・生活環境学部・工学部 各学部からの見本教材や標本の一部を展示します。

文学部

碑は群馬県高崎市吉井町池字御門に所在し、国の特別史跡に指定されています。栃木県的那須国造碑、宮城県の高賀城碑とともに「日本三古碑」とされる。また山上碑・金井沢碑とともにユネスコ世界の記憶にも登録されています。

国特別史跡 多胡碑 拓本
昭和11年10月9日 買入
法量：幅70.8cm 高さ188.4cm



理学部

奈良女子大学では、開学当初からの剥製標本、骨格標本、液浸標本など、多数保存されています。これらは普段大切に管理されるとともに、授業や研究活動において、活用されています。記念館の一般公開では、これらの標本の一部を展示します。



生活環境学部

奈良女子大学には、前身である奈良女子高等師範学校以来の長い被服教育の歴史があり、多くの教材や作品が残されています。昭和初期頃(一部戦後)までを対象に、実物と同じデザインと縫い方で寸法のみ縮めた裁縫雛型、パーツ縫いや仕末法を伝授するための見本教材、素材研究や教材入手のための布見本や糸見本などを展示しています。



奈良女子大学の裁縫教材研究

工学部

奈良女子大学工学部は、女子大学初の工学部として令和4年に誕生しました。現代社会が必要としている創造的エンジニアの育成を目標としています。工学部では、基幹科目である「PBL(創造的課題解決型演習)」の授業の作品を展示します。1、2回生が取り組んだ成果を是非、ご覧ください。



工学部PBLの成果